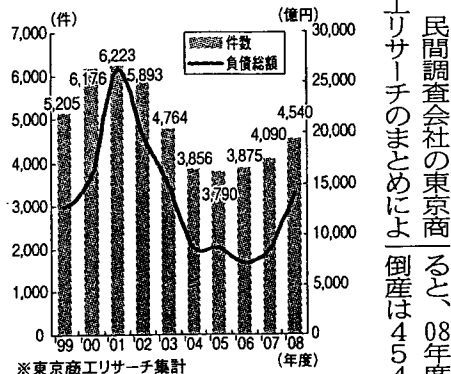


# 建設業倒産4540件

## 負債5年ぶり1兆円超

東商リサーチ  
08年度集計



民間調査会社の東京商工リサーチのまとめによると、08年度の建設業の倒産は4540件（前年度比11・0％増）で、5年ぶりに4500件を上回った。負債総額は1兆3984億円（67・0％増）と5年

ぶりの1兆円超え。負債額は、金融機関の融資姿勢の厳格化や不動産デバローの相次ぐ倒産が増え、前年度（4件）を大きく上回った。「運転資金の欠乏」と「他社倒産の余波」による倒産が増えたのが特徴で、同

下回るなど政府の金融支援策の効果が現れているものの、先行きは依然、不透明な状況にある。業種別の倒産件数は、総合工事業が2797件（前年度比13・4％増）で全体の6割強を占めた。職別工事業は1074件（15・1％増）、設備工事業は669件（3・3％減）。小分類では、舗装を除く土木工事業が1437件（10・7％増）、

木造を除く建築工事業が753件（12・3％増）、木造建築工事業が407件（17・9％増）などとなっている。原因別では、「受注不振・販売不振」2957件（14・3％増）、「既往のしわ寄せ」559件（5・0％減）、「運転資金の欠乏」370件（41・2％増）、「他社倒産の余波」281件（21・6％増）の順。資本金階層別では、1000万円以上5000万円未満が2349件

（18・4％増）、100万円以上500万円未満が990件（4・3％増）が多かった。従業員数別では、5人未満が2271件（7・1％増）と半数を占めた。50人以上300人未満が前年度より20件多い60件、300人以上が同10件多い11件になるなど中堅企業の倒産も増えている。

都道府県別では、大阪府の523件が最多で、東京都（418件）、北海道（270件）、兵庫県（238件）と続いている。35都道府県で前年度よりも倒産件数が増えた。主な倒産企業は、りんかい日産建設（東京都）、オリエンタル白石（同）、新井組（兵庫県）、あおみ建設（東京都）、富士ハウス（静岡県）、真柄建設（石川県）、志多組（宮崎県）、山崎建設（東京都）など。

援策の効果が現れているものの、先行きは依然、不透明な状況にある。業種別の倒産件数は、総合工事業が2797件（前年度比13・4％増）で全体の6割強を占めた。職別工事業は1074件（15・1％増）、設備工事業は669件（3・3％減）。小分類では、舗装を除く土木工事業が1437件（10・7％増）、

木造を除く建築工事業が753件（12・3％増）、木造建築工事業が407件（17・9％増）などとなっている。原因別では、「受注不振・販売不振」2957件（14・3％増）、「既往のしわ寄せ」559件（5・0％減）、「運転資金の欠乏」370件（41・2％増）、「他社倒産の余波」281件（21・6％増）の順。資本金階層別では、1000万円以上5000万円未満が2349件